

国際

就任式に沖縄知事は招待せず
台湾・頼清徳新総統の日本観

五月二十日、台湾で民進党の頼清徳氏が、民主化以降、五人目となる総統に就任した。

その十日ほど前、頼氏は、日本からの来客に対して、親交があった故安倍晋三元首相の発言を引用して「台湾有事は日本有事、日本有事も台湾有事だ」として、安全保障面でも日台は運命共同体であることを強調した。

中国はこの頼氏談話への不満を表明した。「民進党当局が撒き散らすこの種の論調は『日本に媚びて台湾を売り渡す』ロジックだ。台湾独立派と外部勢力の干渉は台湾海峡の平和の最大の破壊要素である」(中国外交部)



元医師の頼新総統

氏に対し、今月九日に「大綬景星勳章」を授与したのだ。垂氏は中国大使の前に台湾勤務を二度経験し、蔡氏の側近など政権幹部とも親密な関係を築いていた。はつきりした物言いと中国府から煙たがられていた垂氏への勳章授与には、台湾は頼政権になっても日本の支援を必要としているとのメッセージが込められていたと読み解く向きもある。

一方で、逆の対応を取られた人もいる。沖縄県の玉城デニー知事は今回の就任式に招待されなかった。過去、沖縄県知事は就任式に参加することが多かった。玉城知事は中国への積極姿勢が目立ち、昨年は訪中団の一員にも加わり、台湾の対岸にある福建省の党書記の来沖計画もある。中国による沖縄の取り込みは、習近平国家主席肝入りの政策とも言われ、台湾もそれを理解し招待をしなかったのかもしれないとの見方も広がった。

沖縄は今後も中国と台湾との間で難しい舵取りを強いられそうだ。

スポーツ

巨人軍が「帰りたくない！」
北陸シリーズ、本当の覇者

五月十四、十五日に富山、福井で巨人がDENAと対戦した「北陸シリーズ」。二連勝した巨人・阿部慎之助監督(45)が「勝因」として挙げて話題となったのが、福井で宿泊したホテルだった。

「その宿泊先は、あわら温泉の『グランディア芳泉』。阿部監督は試合後に『きょう勝ったのは、泊まっていたホテルが素晴らしいから』と大絶賛。さらに『明日の記事、楽しみにしてるから』と記者に記事化を急押ししていました」(スポーツ紙記者)

グランディア芳泉は「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」にも選ばれているが、何が阿部監督の心をつかんだのか。「十四日に富山でのナイターを終えた後、チームはバスで約二時間かけてあわら市に移動。夕食は日付が変わる直前の夜遅くになったのですが、ホテル側はスタッフ総出でビュッフェを貸し切りに。揚げたての天ぷらを用意し、その場で寿司を握ったり肉を焼くなどのおもてなしをしたそうです」(スポーツ紙デスク)



坂本もこの表情 (ホテル公式Xより)

チームのベテラン・坂本勇人(35)も宿の公式Xに投稿された動画の中で、「むっちゃ美味しい」と満面の笑み。「プロ十八年間で数々の遠征をしたけど、今までが一番すごかった」と漏らした。

G軍団を虜にしたのは食事だけではない。

「コーチ陣や球団幹部は離れの和室に宿泊しましたが、各部屋に露天風呂がついていた。阿部監督の部屋はホテルに一室しかないロイヤルスイートで、一泊十万円以上。専用の東屋で露天風呂を一人占めできる百四十平米の部屋でした。部屋のリビングから長い廊下を渡った先に東屋がある、宿の中でも別格の客室だったそうです」(球団関係者)

矢野謙次打撃コーチが「帰りたくない、ずっとここにいたい」と漏らすなど、一行はすっかり「骨抜き」になった。十五日の試合後には、ナインが口々に「ホテルに帰るのが楽しみ」と語ったという。

「去年、球団マネージャーが北陸シリーズの下見をし

に良い宿だったので、宣伝してほしい」とメディアに言ってきた。その結果、各スポーツ紙も大きく取り上げ、SNSでも巨人ファンを中心に「今度泊まりにきたい」という声が相次いだ(前出・記者)

北陸シリーズを本場に制したのはホテルかも。

芸能
スキャンダルほぼゼロの偉業
西田ひかるはバブルに咲いた

五月十四日の「ぼかぼか」にタレントの西田ひかる(51)が出演。若い頃に「大御所芸能人」に口説かれたことを明かした。

「先輩の誘いを無下には断れないと、事務所社長同席のもと会ったそう。若い頃の西田には芸能人だけでなく、バブルで景気のおかげで医者や実業家のファンも多く見合ひ話がひきもきりなかつた」(放送記者)

西田は生後間もなく父親の赴任先のロスにわたり十三歳まで現地を過ごした帰国子女。アメリカンスクールに通っていた十五歳の

代の過渡期だった。そこに殴り込みをかけたのが西田。帰国子女で現役上智大生とこれまでにない特徴がウケて、人気を集めました。「紅白」にも四回出場している(音楽関係者)

女優業にも進出し、ドラマ「デパート!夏物語」は代表作になった。九一年には「24時間テレビ」のチャリティーパーソナリティー、九八年の長野五輪に向けたアンバサダーなど芸能人としての大役を射止めた。

「私物やグッズを販売するチャリティーバザーにも積極的だった。しかし西田といえは八月十六日の誕生日。大勢の人を招くバースデーパーティが、芸能マスコミの季節の風物詩だった」(女性誌記者)

順風満帆な芸能人人生においてつまづきも皆無。イメージを崩しかねないスキャンダルもほとんどなく、アメリカ仕込



大河ドラマ「北条時宗」では和泉元彌の妻役